

# 辺野古埋め立て工事ドキュメント

月日	進捗状況	キャンプシュワブゲート前	海上	備考
1月1日		松田又浜・初日の出・200人。稲嶺市長も		
1月3日				・政府→警察当局・反対運動の排除 ・往来妨害罪、適用検討
1月5日		15年初の抗議行動・200人		・翁長知事年頭あいさつ・辺野古断念
1月6日	防衛局作業船、監視船5～6隻	きみ・きがん、ももこ来訪	船3隻、カヌー10艇	・沖縄相・復興予算満額を困難視 ・自民県連・翁長知事要請せず
1月7日	ODB作業船10隻、潜水調査船など	約50人、韓国高校生		・農相、知事面会拒否 ・沖縄復興予算1割減
1月8日	ODB作業船5隻	東京外大、韓国・中国の学生ら30人	抗議船3隻	・知事会議・翁長氏「全国で基地分担」「沖縄過重負担理不尽」
1月9日	ODB作業船、警戒船16隻		抗議船3隻、カヌー	・ODB→県、工法の変更申請に関する5回目の質問の回答、ダンプトラックの渋滞は進入制限をする
1月10日	8:30大型トラック7台資材搬入 15:00浜辺トラックからプレハブを下ろす 20:55クレーン車、ミキサー車シュワブ内へ 10台仮設棧橋資材？	山型鉄板上で抗議約50人 22時過ぎ市民集結、ごぼう抜き排除		
1月11日	～未明にかけ計15台以上？ 潜水作業	<b>男性逮捕 24時間体制開始</b>		・辺野古工事費1900億円
1月12日	7:30ショベルカー積載大型トラック ODB警戒船3隻、調査船12～3隻	←市民阻止、山型鉄板座り込み 島ぐるみバス含め200人		
1月13日	ODB警戒船・潜水作業船約30隻	山型鉄板座り込み、最大150人、韓国から	抗議船3隻、カヌーカヌー23艇	・ODBユビエダハマサンゴ損傷関与否定 ・環境3団体、承認検証中の作業中止要請
1月14日		午前5時から座り込み、最大130人 午後10時市民100人、うち50人蛇腹鉄柵内、午後11時県警100人、11:40県警数百人		
1月15日	1:43旧ゲートよりクレーン車、資材の工事車両7台 オイルフェンス入れる。浮棧橋設置	午前0時過ぎ、市民をごぼう抜き 新ゲート前約150人、7:40市民50人道路中央横たわる 7:48県警強制排除、 <b>80代女性転倒頭部強打</b> 、島ぐるみバス含め300人ゲート前	抗議船4隻、カヌー25艇、カヌー拘束19人	・沖縄関係県警予算161億減額、辺野古工事費1736億決定 ・県土木建築部→ODB仮設棧橋の撤去方法質問 ・県議会与党・東京外務、防衛省、米大使館訪問、報告集会 ・ODB工法変更申請のうち土砂運搬方法の申請を取り下げる。
1月16日	浮棧橋GB二十数艇、沖合巡視船13隻 オイルフェンスシュワブ内ビーチで連結 浮棧橋近くにアンカー沈める	旧ゲート前封鎖→新ゲート前座り込み←県警排除	抗議船1隻、カヌー18艇フロート、オイルフェンス越え、21人拘束、 <b>K君ろっ骨骨折全</b>	・米軍ヘリ部品落下200kg
1月17日	フロート海上に設置、辺野古崎～長島		抗議のカヌーメンバー5人拘束、長長間航行	・県議会会派県民ネット県警の「過剰警備」是正の申し入れ ・マスコミ労協等工事再開の抗議声明
1月18日	海保巡視艇12隻、ODB警戒船、作業船15	最大150人、一時旧ゲート前で機動隊ともみ合う		
1月19日	浮棧橋からアンカーでクレーンを運ぶ、シュワブのビーチから瀬嵩方面にオイルフェンスを	最大230人抗議	抗議船、 <b>女性ライフジャケット破られ、右手首に怪我、1週間</b> 、マスコミのカメラ押さえ込む カヌー13艇、2人拘束	・高江緊急集会520人
1月20日	オイルフェンス設置、フェンスのアンカー設置		抗議船、カヌーチームの一斉確保 <b>女性に馬乗り</b>	
1月21日	オイルフェンス、瀬嵩方面→汀馬漁港～安部 沖～長島一大浦湾を取り囲むように	120人座り込み、山城博治さん排除の際もみ合い、 <b>60代女性2名後頭部打撲・救急車</b>	抗議船、カヌー、オイルフェンス設置に抗議— 昼食休憩10分と合意しながら確保開始	・稲嶺名護市長→ODB「過剰でひどい」
1月22日	オイルフェンスの一部流される←フェンスの固定作業、フロートを出し、既に出ていたフロートと連結(波荒し)	座り込み200日 国会議員、県市町村議員座り込み1日目約50人	抗議船1隻、カヌー15艇抗議活動	・照屋寛徳議員海上保安庁警備救難部へ「暴力的警備をやめよ」←「最小限の措置」 ・「馬乗り」問題—「通り抜けるため女性をかわした」

1月23日	オイルフェンス拡張作業 重機を積んだトラック等6台入る	国会議員等座り込み2日目80人 機動隊ともみ合い、 <b>男性薬指怪我</b>	抗議船2隻、カヌー12艇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民会議、第11管区海上保安部本部前緊急集会370人</li> <li>・県選出野党国会議員→第11管区海上保安本部、影山さんの馬乗り「最低限許される行為」</li> <li>・福島瑞穂→海上保安庁担当者「現場からけが人がでたという報告は受けていない」</li> <li>・海外識者15人知事に手紙「行動を」</li> </ul>
1月24日	辺野古崎近くの沿岸部からフロートを延ばす 海保巡視船10隻以上海保GB+数隻、○	国会議員等座り込み3日目100人 最大160人	抗議船3隻、カヌー14艇、抗議行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺野古訴訟、那覇地裁、国の当事者参加認める</li> <li>・ムーチー作り、“鬼払い”</li> </ul>
1月25日		100人抗議行動、人間の鎖		・ヒューマンチェーン7000人国会包囲
1月26日	シュワブ沿岸部、建物解体現場付近ショベルカー動く 仮設棧橋設置予定場所、埋め立てに使用？の資材確認	旧ゲート前で市民とにらみ合い。翌0時10分排除・騒然	船5隻、カヌー12艇、フロート越えシュワブビーチ前で抗議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事、検証委を設置、副知事→ODB「検証終了まで作業中止を」←菅官房長「既に承認」</li> <li>・知事、県警、海保に抗議「県民の安心・安全を最優先に」←「必要最低限の規制」</li> <li>・二見以北住民の会、→ODB「移設作業の中断を」</li> </ul>
1月27日	大型クレーン船2隻、資材運搬用台船3隻等7隻大浦湾へ、日の出前7時作業開始、トンプロック海中投下	昨夜～午前3時、県警とのにらみ合い、トレーラーの侵入阻止  台船の見えるゲート付近から抗議の声 稲嶺市長現場へ	抗議船3隻、カヌー15艇、臨時制限区域に進入、抗議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛相「作業中止せず」</li> <li>・知事、大変残念、稲嶺市長「県民の意思無視、差別」</li> <li>・環境団体、海への影響懸念</li> <li>・「馬乗り」問題→「安全確保のため体使い転落防いだ」</li> <li>・辺野古実→海保・市民の怪我関与否定</li> <li>・衆院本会議、安倍・移設「着実に進める」</li> </ul>
1月28日	瀬嵩沖に大型ブイ2基設置 足場のような四角い枠の準備 大型トラック2台シュワブ内へ	大型クレーンが見える地点で抗議 与党県議参加、夜大学生ら	抗議船5隻、臨時制限区域外で確保 カヌー16艇抗議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ろっ骨骨折男性、海上保安官告訴</li> <li>・ODB設置の環境監視等検討委員会・環境対策異論、第三者委員会を</li> </ul>
1月29日	大型クレーン船ブロック計4か所投入	約150人抗議行動・デモ行進・ダイイン	抗議船3隻、 <b>船長北上田さん関節捻挫全治2週間</b> 、制限区域外、カヌー16艇・拘束	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺野古監視委疑義←市民団体「環境保全担保崩れた」</li> <li>・ODB:日の出1時間後～日没1時間前が作業時間という環境影響評価書の記述→作業船の移動や海上での準備は作業開始に含まれない</li> <li>・名護市議会→県警・海保に抗議の意見書採択</li> </ul>
1月30日	赤色浮のコンクリートブロック投入、大型ブイ2基設置 海上保安庁巡視船十数隻→4隻		海保Tさんのパドル海に投げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「馬乗り」問題→国交相「女性の体を保持するため」</li> <li>・防衛相→アンカー120個不明、藻場での移動痕跡認める</li> <li>・日米合同委、高江着陸帯先行提供</li> </ul>
1月31日	資材運搬用台船トンプロック20個、辺野古崎付近の台船・ブルーシートで覆われた大型のフロート積み荷？	最大175人抗議・海保の乗った車両阻止行動 もみ合い、騒然	カヌー18艇抗議活動	
2月1日	大型クレーン船2隻、トンプロック海中投下6か所	約60人抗議行動	抗議船1隻	
2月2日	大型クレーン船2隻、トンプロック新たに8か所投入、大型ブイ1基	最大170人抗議行動	赤嶺議員乗る抗議船・確保拘束される カヌー8艇、オイルフェンス越え、カヌー転覆、8人拘束、岸より4k離れた外洋で解放、午後4時半	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ODB→県、仮設棧橋はボーリング調査終了後撤去、代替施設建設事業には使用しない、工期、撤去時期には回答なし</li> <li>・フロート固定のためのトンプロック、コンクリート製(10～45t)鋼製(480～870k)を系75か所設置</li> <li>・読谷村民会議発足</li> </ul>
2月3日	大型クレーン船、トンプロック数個投入、大型ブイ4基	最大120人、新ゲート前、もみ合い、 <b>60代女性転倒後頭部打撲・救急車・全治1週間</b>	抗議船4隻カヌー19艇、大型作業船へ抗議行動、拘束大浦湾アウトリーフまで、午後も外洋に置き去り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺野古沖、オスプレイを乗せたボノム・リジャー現る。</li> <li>・日欧米識者→オバマ大統領、書簡「基地は人権侵害」</li> </ul>
2月4日	大型クレーン船2隻、大型コンクリートブロック少なくとも6か所、大型浮動票2基	ダイイン、座り込み排除・もみ合い。市民70人	船4隻、カヌー15艇、のべ15人拘束	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相馬由里船長告訴(3件目)</li> <li>・辺野古検証「第三者委」メンバー決定</li> <li>・軍転協の要請、閣僚「会わぬ」、米総領事らへ県外移設を要請</li> <li>・工事請負会社(大成建設)へ抗議・要請</li> </ul>
2月5日	大型クレーン船2隻、コンクリートブロック2か所、大型浮標灯1基設置	ゲート前抗議、検証委桜井氏挨拶	カヌー14艇、9艇拘束長島沖周辺で解放、抗議船1隻一時拘束	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5日防衛省交渉、仮設棧橋工法変更明らかに。</li> <li>・軍転協、外務・防衛相面談なし、「県外移設」文書で要請</li> <li>・名護市議会→県、埋め立て承認の疑問点指摘</li> </ul>

2月6日	安部沖3か所コンクリートブロック投入	最大100人、座り込み、機動隊強制排除・騒然	カヌー5艇・臨時制限区域外で拘束1時間拘束後、まわりに船舶のいない海域に置き去り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11管区海保・拘束説明拒否</li> <li>・検証委・初会合・5分のみ公開・委員長「撤回権限は行政に」・月2回会合・報告は7月</li> <li>・軍転協(会長・翁長)→官房副長官・県外移設要請</li> <li>・翁長氏・上京、沖縄相「面会必要なし」</li> </ul>
2月7日	海上作業はなし	ゲート前約200人、稲嶺名護市長来訪 ゲート入り口座り込み・強制排除、80人瀬嵩の浜から激励	抗議船3隻、カヌー12艇・オイルフェンス、フ ロート乗り越えクレーン船に接近し抗議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境市民団体→防衛省・環境省、埋め立て用岩ずり採取中止の要請</li> <li>・県農林水産部→沖縄防衛局コンクリートブロックの設置場所、岩礁破碎行為の有無を質問</li> </ul>